



# 奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

2月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/naranooka/>

## たくさんのことを学ぶ場所

### それが・・・『学校』

副校長 増本 正己

毎年あっという間に1年が過ぎていく……。もう令和4年に入って1ヶ月が経とうとしています。時代の進み方がどんどん速くなっている。

子どもの頃、一日は長く感じました。特に給食を食べて晩ごはんまでは長く感じました。本当に腹ぺこになっていました。そして毎日暇でした。やることのない日も続きました。もちろん学校から帰って友達と遊ぶ日は多かったのですが、どう過ごしたらいいか悩むこともありました。

ところが年を取るに従って、朝早くから夜遅くまで何かに追われるほどやる必要があります。その日だけでは処理しきれないこともあります。どうしてこんなにやらなければならないことが増えたのだろう。常に締め切りに追われている感じです。

これは大人の事情？いや、現代は子どもも忙しそう。宿題をしなければならない。塾の宿題もあります。ゲームをしたりテレビを見たり、動画を見て話に乗り遅れないようにする人もいます。メールに返信してコミュニケーションをとることも。パソコンも携帯もなかった自分の昭和の子ども時代と比べると、いろいろなことをやりながら一生懸命生きています。現代っ子ってすごいと思います。

時代の進み方が速くなっているということは、一つのことをじっくり考えている暇が無いとも言えるかもしれません。新しい情報が大量に流れてきます。どうでもいい情報も多い。いい加減な情報もあります。取捨選択する知恵がなければ刺激的な情報に流されてしまう。知恵がないとうまく生きることが難しい世の中なのでしょう。

知恵をつけるために、学ぶことが大切な時代だともいえます。だから、回りくどい方法だけでなく、様々な本を読むことが必要です。奈良の丘小学校の図書室を利用する児童がたくさんいます。困ったことへの答えはだいたい本に書いてあると思っています。本は知恵の宝庫。だから、いろいろとやるのがたくさんあるけれど、子どもたちには頑張って本も読んでほしいと思っています。

他にも優れた人の話を聞くこともプラスになると思います。自分が経験していないことについて、様々な先輩から体験談を聞くことも有益だと思います。

インターネットは手軽で便利です。しかし、必要なことは手間暇かけて探してこそ、価値あるものに巡り合えるのだと信じています。そうやって獲得した知識は、確実に知恵になるはずなのだ。

学校には本もたくさんあるし、様々な機会にいろいろな大人から話を聞くこともできます。時には、友達が思わぬ知恵を授けてくれることもあります。いろいろな機会に知恵を伝達してくれる「学校」を、もっと素晴らしいところしてみたい。そのためには、一人ひとりの子ども、保護者、地域の方、教職員がそれぞれの知恵を出し合って、自分たちが今できる最高の学校を、創り上げていくこと、それを目指すことが大切なのだとは思います。

